

**令和4年度補正  
大阪・関西万博政府開催準備事業  
(途上国出展支援事業)  
事業報告書**

**2024年3月**

**公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会**

# 事業の目的及び概要



## 【目的】

大阪・関西万博は誰もが参加しやすい万博を目指しているところ、途上国の参加に対して充実した支援が求められている。大阪・関西万博の開催が約2年後に迫るなか、途上国への支援策の基本計画を策定するとともに、各国のスタッフが日本で開催される準備会議へ出席することにより、有意義に準備を進めることができるよう支援する必要がある。

本事業は上記のような準備業務を行うことにより、途上国が大阪・関西万博においてより充実した出展が可能となることを目的として実施するものである。

## 【概要】

**【対象】** 大阪・関西万博登録申請書で定義される、途上国支援対象プログラム対象国（約90カ国）

### 【実施内容】

- （1）開催者が実施する会議参加に関する各国支援
- （2）パビリオン運営に関する基本計画等作成

### 【実施期間】

令和5年3月30日から令和6年3月29日

## (1) 開催者が実施する会議参加に関する各国支援

### 【目的】

公式参加者のパビリオン建設に向けた準備が本格化するなか、各国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が出席し、大阪・関西万博のテーマへの理解をより深めるためのセッションや、パビリオンの内外装や展示工事、運営準備、催事の計画など、多岐にわたる事項について案内と議論を行うべく、2023年6月に国際企画会議（IPM2023春）、同年11月に国際参加者会議（IPM2023秋）を開催した。各国のスタッフがこれら会議へ出席することにより、有意義に準備を進めることができるよう支援する必要がある。

### 【実施内容】

#### （対象会議）

- ◆ International Planning Meeting（国際企画会議）（6月6日）
- ◆ International Participants Meeting（国際参加者会議2023年秋）（11月14日、15日）

#### （支援内容）

上記の会議の開催にあわせて、航空券、宿泊施設、空港送迎の手配及び査証取得に必要な書類の作成を実施した。

## (1) 開催者が実施する会議参加に関する各国支援

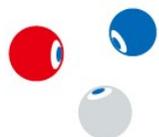
### 【実施結果】

途上国支援プログラムの対象となる下記参加者に対して、航空券、宿泊施設、空港送迎の手配及び査証取得に必要な書類の作成を実施。

- ・国際企画会議：約130名
- ・国際参加者会議：約150名

### 【成果】

- ◆参加者が安全かつ円滑に会議に出席し、各国が有意義に準備を進めるための情報を得る機会を提供できた。
- ◆途上国対象者が参加することで会議において、関係者間の活発なコミュニケーションが促され、結果とし準備加速に資する会議となった。



## (参考) 国際企画会議の実施概要

- ◆会議開催日程： 2023年6月6日（火）
- ◆開催場所： ハイアットリージェンシー大阪
- ◆参加者： 参加を招請した各外国政府や国際機関  
（86か国、5国際機関 約190名）
- ◆実施内容：
  - ・パビリオンの展示工事、運営準備、催事の計画など多岐にわたる事項について案内と議論
  - ・会議開催時点での途上国支援の概要の説明及び質疑応答
  - ・夢洲および大阪・関西エリアへの現地視察（エクスカーション）の実施



【会議の様子】



【夢洲視察の様子】

## (参考) 国際参加者会議2023年秋の実施概要

- ◆ 会議開催日程： 2023年11月14日（火）、15日（水）
- ◆ 開催場所： 大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）
- ◆ 参加者： 参加を表明（予定を含む）している国・地域、国際機関  
（約150か国・地域、7国際機関 約500名）
- ◆ 実施内容：
  - ・パビリオンの展示工事、運営準備、催事の計画など多岐にわたる事項について案内と議論
  - ・会議開催時点での途上国支援の概要やスケジュールについての説明及び質疑応答
  - ・本会議と並行して13の分野で個別相談に対応するワンストップショップを設置と相談対応
  - ・自治体・関係機関と連携した大阪・関西エリア各地への現地視察（エクスカージョン）を実施



【集合写真】



【会議の様子】



【エクスカージョンの様子】

## (2) パビリオン運営に関する基本計画等作成

### 【目的】

2025年の開催に向け、関係法令、特別規則、協会内各部局が作成するガイドラインや運営規則との整合性を確保した共同館の運営方法を検討し、また、次年度において早期に共同館3館の共用部の施工に着手すべく、それらの実施設計の作成を今年度に行う必要があった。

### 【実施内容】

- ◆タイプB単独館及びタイプC共同館のうち途上国支援対象に関して、アテンダントの配置、警備、清掃、その他運営（危機管理や施錠ルール等）について体制や人員配置の案、運営計画案・マニュアル案等を作成した。
- ◆途上国支援対象となる共同館の共用部分の実実施設計等を作成した。
- ◆途上国に対して提供可能な支援プログラム及びその提供手法に関して、その内容検討し、各国向けに案内する「途上国支援プログラムに関するガイドブック」を作成した。

### 【成果】

- ◆途上国支援対象となるパビリオンの円滑な運営及び施工に向けて着実な準備を実施することができた。
- ◆途上国支援プログラムの内容を支援対象国に提示することで、各国の出展準備を促進することができた。

